

女性医師支援へ冊子発行

キャリアアップモデル紹介



女性医師のキャリアアップを後押ししようと、ふじのくに女性医師支援センターはこのほど、オリジナル冊子「じぶんらしくたのしく はたらく」を発行した。結婚、出産を経て職

場復帰した医師をロールモデルとして紹介し、仕事と家庭の両立を希望する女性医師の活躍を支援する。

浜松医療センター周産期センターの芹沢麻里子センター長や独立行政法人地域医療機能推進機構（JCH

○）桜ヶ丘病院の森典子院

女性医師のキャリアアップ支援のため作成した冊子＝県庁

長といった、組織のトップを務める女性医師のインタビューを掲載した。大学卒業後から現在までのモチベーションシロングラフのほか、復帰の経緯、キャリアアップに伴う意識の変化、後輩へのアドバイスなどについて語っている。

育休後に復帰した女性医師の診療科や勤務形態、オンとオフの切り替えや仕事のやりがいなどの簡単なQ&Aも載せた。

同センターの谷口千津子さんは「女性医師が育休後に現場に戻るだけでなく、そこから一歩次に進めるよう、新たなモチベーションを持てるきっかけになれば」と期待した。冊子は県内の医療機関に配布したり、学会で配ったりする。